

第20課

開発

東横大学	教授	松下理	(51歳)
	助教	向井奈緒	(33歳)
心身堂	開発部	福山淳平	(36歳)
	営業部	山田健	(32歳)
	広報部	高島佳歩	(28歳)

①産学協同

心身堂では、東横大学と協同で新素材容器の開発を行っている。基礎的な研究開発を大学が行い、心身堂が商品化するというものである。

(心身堂開発部の福山が、東横大学の松下教授の研究室に顔を出す)

福山: 先生、その後、進捗状況はいかがでしょう。

松下: うーん、順調と言いたいところだけど、一向に進まなくて、正直、頭が痛いですよ。

福山: (申し訳なさそうに) すみません。

松下: いやあ、とにかくお宅から出された課題が、「冷蔵庫から出しても水滴が出ない」「いつまでも冷たいまま」ですからね。1つだけならまだしも。

福山: 無理は承知のうえです。でも、その点を改良できれば、新素材のペットボトルとしては画期的だと思うんですが…。

松下: 確かにそうですが…。

(ふざけて) この分だと、商品化までの道のりは遠いかもね。

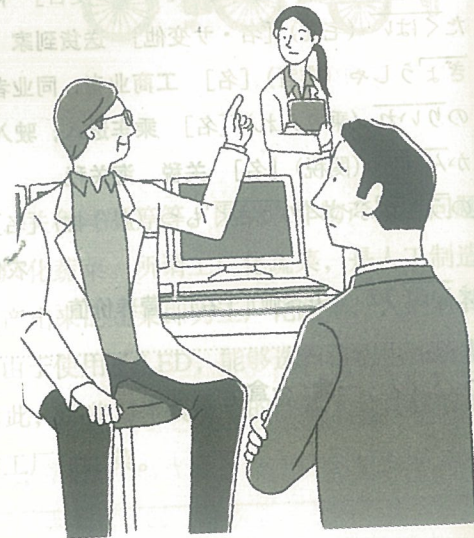
福山: そうおっしゃらずに、先生、そこを何とか。

(気を取り直して) それに、もしそんな素材が開発できれば、ペットボトル以外にも用途を広げられると思うんです。

松下: ええ。

(助教の向井に声をかける) 向井さん、例のやつを持ってきて。

向井: はい。あれですね。分かりました。



(向井が開発中の素材が入った箱を持ってくる)

松下: (福山に向かって) ちょっと触ってみてください。

福山: (箱の中の物質を触って) 何ですか、これ。何かの粉のようですが…。

向井: 開発中の合成樹脂です。原料はイグサ。

5 福山: イグサ? あの畳表を作る?

松下: そう。イグサには、吸湿性、つまり水分を吸収するという性質があって、それを利用して新しい素材ができないかと思いついたんですよ。

福山: へえ、イグサとは思ってもよかったです。

松下: そう。しかも、イグサには保温性もありますし。

10 福山: 保温性ですか?

向井: はい。スポンジ状の繊維がたくさんあって、それが中に空気を含み、外に逃さないんです。

……

②お披露目

産学協同で開発した新素材の容器が完成し、関係部署の担当者にお披露目される。

15 (本社会議室。試作品が並んでいる)

高島: (試作品を手にとって) 普通の発泡スチロールの容器みたいですが。

福山: ふたを開けてみてください。

高島: (ふたを開けて手を入れてみる) あーっ、ひんやりしてる。

(中を確認して) あれ? 保冷剤が入っていないのに、何で?

20 福山: 不思議でしょう? 実は、それが、この容器の秘密なんです。

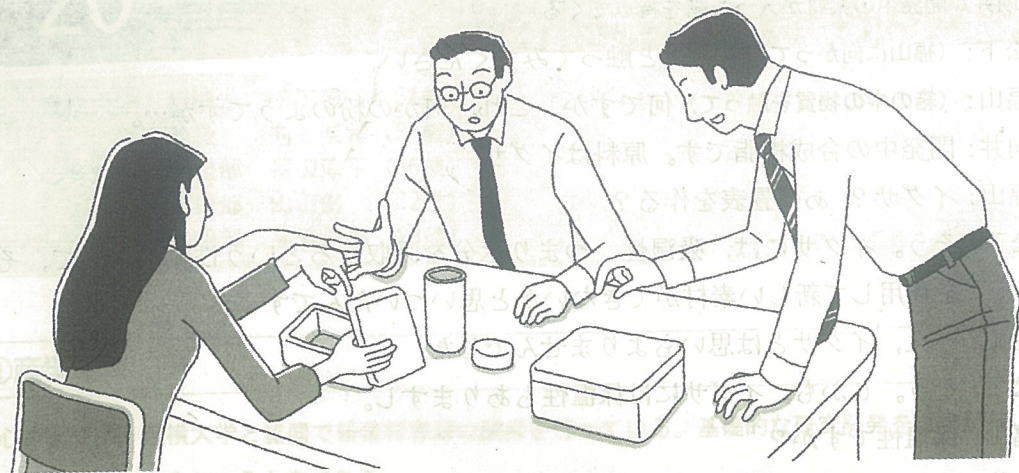
山田: どういうことですか。ずっと冷蔵庫に入れておいたということ?

高島: でも、外側は冷たくない。冷蔵庫に入っていたなら、中だけ冷たいというのはおかしいし。

福山: 実は、3時間ほど前に氷を入れておいたんです。

25 山田: なんだ。氷ですか。3時間経ったから、すっかり溶けているというわけですね。

高島: でも、溶けた水は入ってませんよ。どうしてですか。



(福山が吸湿性と保温性について説明する)

福山: 容器の内側には、肉眼では確認できないほど細かいスポンジ状の突起が付いています。

高島: (内側を触って) ああ、なんかざらざらしています。これですね。

福山: そうです。その突起が氷の水分を吸収して、冷気を中に閉じ込めます。

これが吸湿性です。そして、ふたをして密封しておけば、中の温度は一定に保たれます。つまり、保温性ですね。

山田: なるほど。吸湿性と保温性を兼ね備えた素材ということですか。

福山: ええ。ですから、氷を入れっぱなしにしておいても、水分は残らないというわけです。

高島: あのう、その保温性って、どのくらい持続するんですか。

福山: そうですね…。例えば、1ℓの容器なら、氷1個でおおよそ8時間保冷が可能です。

高島: はあ。でも、必ず氷が必要なんですか。

福山: いいえ。ふたをせずに容器ごと冷蔵庫で冷やして、外に出した時にふたをすれば、冷気が閉じ込められるので、同じような効果があります。

山田: それと、保温性ってことは、当然、温かいものは温かいままになりますよね。

福山: もちろんです。例えば、たこ焼きを入れたとしますね。その場合でも、熱気を吸収して保温しますので、水分が出ません。

高島: ということは、あの、べちゃっとした感じがなくなるわけですね。

福山: ええ、そうです。結果的に、食感も保たれるということです。

……

新出語彙1

とうよこだいがく (東横大学) [专] 东横大学

おさむ (理) [专] 理

じょきょう (助教) [名] 助教

むかいなお (向井奈緒) [专] 向井奈绪

ふぐやまじゅんぺい (福山淳平) [专] 福山淳平

たかしまかほ (高島佳歩) [专] 高岛佳歩

ざんがくきょうどう (産学協同) [名] 产学合作

きょうどう (協同) [名・サ変自]

きそてき (基礎的) 基础的

しんちよく (進捗) [名・サ変自] 进展

いっこうに (一向に) [副] 一点也……; 全然

まだしも [副] 还算可以, 还行, 还好

かつきてき (画期的) [形2] 划时代的, 划期的

ふざげる [动2自] 开玩笑; 愚弄人

みちのり (道のり) [名] 路程, 距离

とりなおす (取り直す) [动1他]

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

れいき (冷氣) [名] 冷气, 凉气

みつふうする (密封~) [名・サ変他] 密封

かねそなえる (兼ね備える) [动2他]

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

解説

1. 场景设置与表达

本课前半部分的会话场景“①产学合作”是在大学的研究室，登场人物是松下教授(51岁)和他的下属向井助教(33岁)以及心身堂的福山(36岁)。松下与向井在同一研究室工作，由于松下与向井是上下级关系，所以松下平常对向井用简体说话，如“向井さん，例のやつを持ってきて。”向井对上司松下则使用敬体。福山对松下和向井来说属于外部人士，所以与松下、向井之间都使用敬体。

后半部分的会话场景“②新产品发布会”在心身堂公司内进行，登场人物有心身堂职员福山、山田(32岁)、高岛(28岁)3人。3个人基本上相互用敬体说话。只是他们年龄相仿，公司内的职位也相差不大，相互之间都感觉没有拘束，因此有时会把自已的感觉直截了当地说出来，这时就会使用简体。高岛说“あーっ、ひんやりしてる。あれ？ 保冷剤が入っていないのに、何で？”就是其中一例。

■2一向に進まなくて、3正直、4頭が痛いですよ。

2. 一向に～ない

“一向に”与否定形式一起使用，表示“完全(不)……”。

▶ 山田さんには何回も電話をかけているんですが、いつも留守番電話で、向こうからは一向に連絡がないんですよ。

(给山田打了几次电话都只听到录音，对方也根本不回复。)

▶ ここにごみを捨てないようにという張り紙をしたのですが、ごみを捨てていく人は一向に減りません。

(我贴了一张“不要在这里丢垃圾”的告示，可扔垃圾的人还是不见减少。)

▶ 彼はいつも研究のことばかり考えていて、服装は一向に気にしない。

(他总是一心扑在研究上，穿着方面则一向毫不在意。)

3. 正直

“正直”是二类形容词，相当于汉语的“老实”。本课做副词使用，相当于“老实说”的意思。

▶ 加藤さんは正直な人ですから、うそをつくことはないと思います。

(加藤是个诚实的人，我觉得他不会说谎。)

▶ 大学の入学試験に落ちて、正直、自信をなくしました。

(高考落了榜，老实说，我的自信都没了。)

4. 頭が痛い

“頭が痛い”除了表示①头痛，还有②因担心某事而烦恼的意思，当作惯用形式使用。

课文中是②的用法，“頭が+一类形容词”的惯用形式还有“頭が固い(死脑筋)”“頭が低い(谦恭)”“頭が古い(观念旧)”等。

- ▶ 頭が痛い時は、この薬を1錠飲んでください。[①](头痛的时候吃1片这个药。)
- ▶ うちの上司は頭が固い。決して考えを変えようとしません。
(我的上司认死理，绝不肯改变自己的想法。)
- ▶ わたしの夫はだれに対しても頭が低い。(我丈夫对谁都很谦恭。)
- ▶ 父は頭が古くて、女性は結婚したら仕事を辞めるべきだと言っています。
(父亲脑筋旧，他说女人结了婚就得辞掉工作。)

表示身体部位的词 + が + 一类形容词

顔が広い	▶ うちの社長は顔が広い。(我们总经理交际面广。)
口がうまい	▶ 彼は口がうまいから、気をつけたほうがいい。 (这人说的比唱的还好看，你可得加点小心。)
口が重い	▶ 彼は口が重くて、なかなか本音を言わない。 (他这人话少，轻易不会吐露心声。)
口が軽い	▶ 彼女は口が軽いから、大切なことは話さないほうがいい。 (她这人嘴快，要紧的话别跟她说。)
耳が痛い	▶ 彼の忠告はありがたいが、わたしにとっては耳が痛い。 (他的忠告我很感谢，但听来有些逆耳。)
耳が早い	▶ どこで聞いたのか知らないけど、彼女は耳が早い。 (不知她从哪儿听说的，消息真灵通。)
鼻が高い	▶ オリンピックで息子が活躍してくれて、親として鼻が高い。 (奥运会上儿子给我争了光，作为家长我很自豪。)
腹が大きい	▶ 社長は腹が大きいので、小さなミスで怒るようなことない。 (老总度量宽，不会因那点小错生气的。)
腹が黒い	▶ その政治家は腹が黒いことで有名だ。(那位政治家以心黑手辣而闻名。)
足が重い	▶ 前回、父とけんかをしたので、今回実家に帰省するのは足が重い。 (上次回家跟父亲吵了一架，所以这次回老家觉得有点迈不动步子。)
足が早い	▶ ゆで卵は足が早いから、今日中に食べたほうがいい。 (煮鸡蛋容易变馊，最好今天之内吃掉。)

■とにかく、お宅から出された課題が、…

5. お宅

“お宅”有两个意思：①尊称对方的家或家庭；②尊称对方所属的公司或组织。课文中是②的用法(□□中级第19课)。“お”用于名词前面，表示敬意(□□初级第48课，高级第4课)。

▶ いつかお宅にお邪魔してもいいですか。[①](什么时候去您家拜访可以吗?)

▶ お宅では、今、新製品を開発中だそうですね。〔②〕

(听说您那里正在开发新产品啊?)

②也用于向身份同等或关系不太密切的对方表示轻微的敬意。

▶ お宅の犬の鳴き声がうるさくて、子供が目を覚ましてしまうんですが…。

(您家的狗叫声吵得我们家孩子睡不着觉啦!)

■ 1つだけ。ならまだしも。

6. ～ならまだしも

“まだしも”用“名词+ならまだしも”“动词基本形+ならまだしも”的形式，表示“前面的事项还能应付，后面的事项就难对付了”的意思。这里的“なら”表示假定条件(□初级第37课)。

▶ 1年に1回ぐらいならまだしも、こんなにたびたび停電すると困ります。
(一年一次还勉强凑合，总是这么停电可受不了。)

▶ 5,6人ならまだしも、10人以上となると、この部屋では狭過ぎます。
(5,6个人还行，10人以上这房间就太狭小了。)

▶ 連絡してから来るならまだしも、突然来て仕事を手伝えと言われても困る。
(先联系一下再来我们还可以想想办法，这么突然来了就要人帮忙做事，可真是够呛。)

课文中“1つだけならまだしも。”的后面省略了类似下面这样的说法：“1つだけならまだしも、2つの課題を同時に解決するのは難しい。(如果只要求一项还好办，两个课题同时解决确实比较难。)”

■ その点を改良できれば、新素材のペットボトルとしては画期的だと思うんですが…。

■ もしそんな素材が開発できれば、ペットボトル以外にも用途を広げられると思うんです。

7. と思うんです／～と思うんですが… [表达自己的见解]

“～と思う”用于说话人表达自己的想法或意见(□初级第24课)。当表达自己的见解时，多与表示理由或说明语气的“のです／んです”一起使用(□初级第24课)。口语则用“～と思うんです”的形式。

▶ 英語教育についてご意見をお聞かせください。(请告诉我你对英语教育的看法。)
——わたしは英語の勉強はできるだけ早く始めたほうがいいと思うんです。

(我认为英语学习应该尽早开始。)

另外，表达自己的意见时，句尾有时加上“が”(□初级第12课)，如“～と思うんですが…”，采用说半句话的形式。这样比断言“～と思います”“～と思うんです”委婉一些，以免给对方造成咄咄逼人的印象。

▶ お客様には、こちらの赤いジャケットがお似合いになると思うんですが…。
(我觉得这件红外套挺适合您的……)

■ この分だと、商品化までの道のりは遠いかもね。

8. この分だと、～

“この分”多用“この分だと、～”“この分なら、～”“この分では、～”的形式，相当于汉语的“这样下去的话，……”。

▶ この分だと、工事は予定より早く完成するでしょう。(这么干，工程会提前完成。)

▶ この分だと、明日までにはできないかもしれません。(照这样干今天之内可能完不了。)

▶ この分なら、今週中には退院できるでしょう。(看这样这周就可以出院了。)

▶ この分では、製品の完成が遅れるかもしれません。(这样下去产品的完成可能会延迟。)

“この分だと”后面既可以是令人满意的结果，也可能是不好的结果，“この分なら”后面只能是好的结果，而“この分では”后面只能是不好的结果。

■ あーっ、ひんやりしてる。

■ でも、外側は冷たくない。

9. 敬体中出现的简体

在课文中，基本上大家是用敬体在讲话，但其中高岛有时也用了简体，如“あーっ、ひんやりしてる。”“でも、外側は冷たくない。”简体本来是用于自言自语，而不是针对对方的发言。“ひんやりしてる”及“冷たくない”等表达的是自己的判断，因此像这样在敬体的对话中出现简体，也并无失礼之处。

▶ A: 食事に誘おうとしたのに、電話をしてもだれも出ない。どうして?
(想约他们吃饭，可打电话也没人接。怎么回事呢?)

B: 田中さん、週末はお嫁さんの実家に帰るって言ってましたよ。

(田中说了周末要去岳母家的。)

A: そうだったんですか。(是这样啊!)

■ あーっ、ひんやりしてる。

■ ああ、なんかざらざらしています。

10. “ひんやりする”“ざらざらする” [表示状态的拟态词]

“ひんやりする”“ざらざらする”是表示样子、状态的拟态词(□高级第3课)用做动词的形式。“ひんやりする”表示觉得凉冰冰的，“ざらざらする”表示物体表面不光滑。

表示物品的状态，拟态词可以使用“ざらざらだ”的形式，但“ひんやり”这类拟态词虽然可以用“ひんやりした”，却不能用“ひんやりだ”的形式。

▶ サメの皮膚はざらざらだ。(鲨鱼的皮麻麻拉拉的。)

▶ 森の中に入ると、ひんやりとした空気に包まれた。
(进入森林以后，感觉被阴森森的空气包围了。)

拓展

象声词的特征②

象声词不仅用法上有特征(□高级第3课),形式上也有一些特征。

同词语的重叠

- **ががつ**: 贪婪地; 大口大口地(吃东西)
 - ▶ 拾ってきた犬にえさを与えると、**ががつ**と食べ始めた。(我给捡来的狗喂食时,它狼吞虎咽地吃起来。)
- **がぶがぶ**: 大口大口地(喝酒/水)
 - ▶ 休みの日には、父は朝から**がぶがぶ**お酒を飲んでいる。(假日里,父亲从早上就开始大口大口地灌酒。)
- **がみがみ**: 喋喋不休
 - ▶ ちょっと間違えたくらいで、**がみがみ**しかれると、だれでもやる気がなくなってしまう。(稍出一点错就被披头盖脸地训一顿,谁都会觉得干得没劲了。)
- **きらきら**: (由于反光)一闪一闪地
 - ▶ 空気中の水蒸気が細かい氷の結晶となって、太陽に輝いて**きらきら**する現象をダイヤモンドダストという。(空气中的水蒸气变为结晶状的微小冰粒,在阳光照耀下闪闪发光的现象称作“冰晶”。)
- **くらくら**: 头晕目眩
 - ▶ 寝不足で、頭が**くらくら**する。(睡眠不足,头晕晕乎乎的。)
- **くるくる**: 骨碌碌地转; 一层一层地包卷
 - ▶ ロールキャベツを作る時は、肉をキャベツで**くるくる**巻きます。(在做卷心菜肉卷时,用圆白菜一层一层地把肉馅卷在里面。)
- **ごつごつ**: 坚硬而粗糙不平
 - ▶ 海岸の岩場は**ごつごつ**していて危険だ。(海岸边的礁石丛凹凸不平,很危险。)
- **さらさら**: 爽利; 清爽
 - ▶ ブラシですいたばかりの髪の毛は**さらさら**している。(刚刚用头刷梳理过的头发十分清爽。)
 - ▶ 玉ネギには血液を**さらさら**にする成分が含まれている。(洋葱中含有降低血液黏稠度的成分。)
- **じめじめ**: 潮乎乎; 湿乎乎
 - ▶ 部屋の湿度が上がると、畳が**じめじめ**する。(房间的湿度上升以后,榻榻米感觉潮乎乎的。)
- **ずばずば**: 心直口快(说话不留情面)
 - ▶ 彼女はだれに対しても、**ずばずば**ものを言う。(她不管对谁都是心直口快的。)
- **ぞくぞく**: (由于喜悦、期待、紧张、兴奋等)身上一阵阵发冷
 - ▶ 熱があるのかもしれない。体が**ぞくぞく**する。(也许是发烧了,身上一阵阵发冷。)

● **そわそわ**: 心神不宁

▶ 今日、大学の合格発表がある。息子は朝から**そわそわ**している。(今天是高考发榜的日子,儿子从早上起来就心神不定的。)

● **ちらちら**: 一眼一眼地膘

▶ こちらの方を**ちらちら**見ている人がいる。(有人不断地往这边瞅。)

● **ぬるぬる**: 滑溜溜; 粘而滑

▶ 長芋の**ぬるぬる**した食感が苦手だ。(我受不了生山药那种滑腻的口感。)

● **ねばねば**: 黏黏乎乎

▶ 納豆のような**ねばねば**した食べ物は健康にいいといわれている。(据说像纳豆那样有黏黏乎乎感觉的食品有益健康。)

● **ぴちぴち**: 欢蹦乱跳地

▶ この魚はとても新鮮だと思う。さっきまで生けすの中で**ぴちぴち**跳ねていたんだから。(这条鱼很新鲜。刚才我还看见它在鱼篓里乱蹦呢。)

● **ぶるぶる**: (由于寒冷或恐怖)发抖

▶ 東京スカイツリーの展望台に上ったけど、足が**ぶるぶる**震えて止まらなかった。(我虽然登上了东京晴空塔的瞭望台,但两腿却抖个不停。)

● **ふわふわ**: 漂浮的样子; 轻软的样子

▶ タンポポの綿毛が**ふわふわ**宙を舞っている。(蒲公英毛茸茸的种子在空中飞舞。)

▶ **ふわふわ**した布団より、わたしは硬くて薄いほうが寝やすい。(比起松软的被子,我觉得倒是硬一点、薄一点的被子更容易入睡。)

● **ぼそぼそ**: 小声嘟囔

▶ 彼はいつも**ぼそぼそ**しゃべるので、聞き取りにくい。(他总是说话像蚊子叫一样,让人听不清楚说的是什么。)

● **もりもり**: 狼吞虎咽地; 精力旺盛地; 迅猛地

▶ 夏ばてしないように、**もりもり**食べて元気をつけてください。(为了不闹苦夏,要猛吃东西,补充元气。)

● **よちよち**: 摇摇晃晃(幼儿等走路不稳的样子)

▶ 何羽ものペンギンが**よちよち**並んで歩いている。(很多只企鹅排着队摇摇晃晃地走着。)

含促音“っ”和“り”的词例

● **あっさり**: 清淡的

▶ **あっさり**したスープを作るなら、とりがらを使うといい。(要想做出味道清淡的汤来,你可以用鸡架子。)

● **ぐっすり**: 睡得沉沉的样子

▶ 不眠症で悩んでいます。ぐっすり眠るにはどうしたらいいでしょうか。(我在为失眠症苦恼。要想睡得好,我需要怎样做呢?)

与“ごと”相关的词有“まるごと”。“まるごと”表示具有一体感的物品的全部(□高级第9课)。

■温かいものは温かい¹⁴ままになりますよね。

14. ~まま

“温かいまま”意思是“温暖的状态保持不变”。用“一类形容词+まま”“二类形容词+な+まま”“动词た形/ない形+まま”“名词+の+まま”的形式，表示该状态保持不变(□初级第42课)。

- ▶ 約1か月間、気温が高いままだだったので、野菜ができなくて値段が高騰した。
(大约一个月气温居高不下，蔬菜长得不好，造成价格暴涨。)
- ▶ 何歳になってもきれいなままでいたいと思っている人は少なくないだろう。
(无论年龄多大都希望保持美貌的人很多吧。)

▶ 急いでいたので、普段着のまま出かけました。(着急了，穿着平常的衣服就出门了。)
“动词た形+まま”与“~っぱなし”(□本课讲解12)①的意思相同，都表示动作结束后维持原样，但不含“维持原样不好”的意思。

- ▶ わたしは昨日、テレビをつけたまま眠ってしまった。(我昨天开着电视就睡着了。)
- ▶ わたしは昨日、テレビをつけっぱなしで眠ってしまった。
(我昨天电视都没关就睡过去了。)

“动词た形+きり”(□高级第11课)在表示某动作结束后保持该状态方面有类似之处，但“~たきり”的重点在于事件以该动作结束。

- ▶ 彼は20歳の時にアメリカへ行ったきり、亡くなるまで一度も日本に帰ってこなかった。(他20岁时去了美国，从那以后直到去世再没回过日本。)
- × わたしは昨日テレビをつけたきり眠ってしまった。
除了“~ままにする”“~ままになる”，还有“~まま，~”“~ままで，~”“~ままだ”等形式。

- ▶ 道具は片づけなくていいです。そのままにしておいてください。
(工具不用收拾了，就放那儿吧。)
- ▶ 授業で分からなかったことを授業が終わってから先生に質問して、もう一度説明してもらったが、結局分からないままだった。
(课上没明白的地方下课后又请老师讲了一遍，可结果还是没弄懂。)

■あの、¹⁵べちゃっとした感じがなくなるわけですね。

15. べちゃっとした

“べちゃっとした”是表示进水后软塌塌的拟态词“べちゃ”加上表示状态的“っと”，也可以说成“べちゃべちゃした”。课文中高岛说“べちゃっとした感じ(感觉软塌塌的)”是因为她认为烧烤章鱼丸应该是热乎乎的，表面又焦又脆，而沾上水分后不再焦脆”。

- “べちゃ”可以用“べちゃべちゃだ”的形式做谓语。
- ▶ このチャーハン、なんかべちゃべちゃだね。(这炒饭怎么黏乎乎的。)

- じっくり：踏踏实实地；不慌不忙地
▶ この問題は簡単に解決しそうにない。みんなでじっくり考えよう。
(这个问题看来不那么容易解决。大家一起来好好动动脑子吧。)
- たっぷり：充分地；满满当地
▶ 今夜はたっぷり時間がある。心行くまでとことん飲もう。
(今天晚上有的是时间，咱们就喝它个痛快吧!)
- びっしり：密密实实地，满满地
▶ 本棚に本がびっしり並んでいる。(书架上严严实实地摆满了书。)

11. なんだ。氷ですか。

“なんだ”用于事情超出了自己的预想或期待时表达意外或失望的感觉。容器里面是凉的，但又被告知并未放入冰箱，山田以为这里面可能有什么玄机。可福山告诉他“実は、3時間ほど前に氷を入れておいたんです”，这使山田的期待落空，所以用“なんだ”表示意外。

- ▶ なんだ。お母さん、今日もまたカレー？(我当是什么呢！妈，今天又是咖喱饭？)

■氷を入れ¹²っぱなしにしておいても、水分は残らないというわけです。

12. ~っぱなしにする

“动词ます形去掉‘ます’+っぱなしにする”的意思是，表示动作结束后维持在该状态；如①。而“动词ます形去掉‘ます’+っぱなしだ”有两个意思：除了①以外，还表示该动作继续进行，如②。用于①时，含有“维持原样不好”的意思。

- ▶ 窓を開けっぱなしにしておいたので、雨が降り込んで床がぬれてしまった。[①]
(窗户打开了没再管，雨涌进来把地板浇湿了。)
- ▶ 彼は仕事をした後、いつもやりっぱなしだ。[①](他干完活之后总是不收拾。)
- ▶ 佐々木さんはさっきから笑っぱなしだ。[②]
(佐佐木从刚才开始一直笑个不停。)
- ▶ わたしたちのチームは、今年に入ってから勝ちっぱなしだ。[②]
(我们球队今年以来一路取胜。)

■ふたをせずに¹³容器ごと冷蔵庫で冷やして、...

13. 容器ごと

“ごと”接在名词后，表示“与该物一起”。一起的两个对象多为一体感较强的物品。如容器和容器里装的东西。

- ▶ わたしはリンゴを皮ごと食べます。(我把苹果连皮一起吃。)
- ▶ 友人の家を借りたので、家具ごと借りることができました。
(由于是租借朋友的房子，所以能连家具一起借给我用。)

拓展

“~っと”形式的拟态词

“ぼそぼそ”“じめじめ”“ふわふわ”“ちらちら”等相同词语重叠组成的拟态词，其中有些可以改为不重叠而加“っと”的形式，如“ぼそっと”“じめっと”“ふわっと”“ちらっと”。与重叠组合的拟态词相比，后者是于某一瞬间捕捉到的样子或状态。

▶ 普段物静かな彼がぼそっとつぶやいた。(平日不声不响的他悄声嘟囔了一句。)

▶ 風に吹かれて木の葉がふわっと舞い上がった。(落叶随风扶摇飞舞。)

新出語彙2

- るすばんでんわ (留守番電話) [名] 留言电话
- かみのけ (髪の毛) [名] 头发
- はりがみ (張り紙) [名] 告示, 贴出的纸张; 招贴
- せいぶん (成分) [名] 成分
- ほんね (本音) [名] 心声, 真话, 真心话
- すばずば [副] 心直口快 (说话不留情面)
- きせいする (帰省~) [名・サ变自] 回老家, 探亲
- ぞくぞく [副] (由于期待、紧张、兴奋等) 身上一阵阵发冷
- ゆでたまご (ゆで卵) [名] 煮鸡蛋
- ちらちら [副] 一眼一眼地瞟
- たびたび [副] 屡次, 屡屡
- ぬるぬる [副] 滑溜溜; 粘而滑
- ジャケット [名] 短外套, 短外衣
- ながいも (長芋) [名] 山药
- たいいんする (退院~) [名・サ变自] 出院
- びちびち [副] 欢蹦乱跳地
- およめさん (お嫁さん) [名] 妻子; 媳妇; 新娘
- いけす (生けす) [名] 鱼篓
- はねる (跳ねる) [动2自] 蹦, 跳跃; 溅, 飞溅
- ひふ (皮膚) [名] 皮肤
- ふるふる [副] (由于寒冷或恐怖) 发抖
- がっがっ [副] 贪婪地 (吃); 大口大口地 (吃)
- ふるえる (震える) [动2自] 颤抖; 震动
- がぶがぶ [副] 大口大口地 (喝酒/水)
- たんぽぽ [名] 蒲公英
- すいじょうき (水蒸気) [名] 水蒸气
- わたげ (綿毛) [名] 绒毛
- けっしょう (結晶) [名] 结晶
- ちゅう (宙) [名] 空中
- ダイヤモンドダスト [名] 冰晶
- まう (舞う) [动1自] 飞舞, 飘荡; 舞蹈
- くらくら [副] 头晕目眩
- ぼそぼそ [副] 小声嘟囔
- くるくる [副] 骨碌碌地转; 一层一层地包卷
- しゃべる [动1自] 说话
- ロールキャベツ [名] 卷心菜肉卷
- ききとる (聞き取る) [动1他] 听见; 听懂; 听取
- キャベツ [名] 圆白菜
- もりもり [副] 狼吞虎咽地; 精力旺盛地; 迅猛地
- ごっごっ [副] 坚硬而粗糙不平
- なつばてする (夏ばて~) [名・サ变自] 苦夏
- ざらざら [副] 爽利, 清爽
- ぶちよち [副] 摇摇晃晃 (幼儿等走路不稳的样子)
- ブラシ [名] 发刷
- すく [动1他] 梳 (发)

ペンギン [名] 企鹅

とりがら [名] 鸡架子

ふみんしょう (不眠症) [名] 失眠症

ふりこむ (降り込む) [动1自] 涌进, 刮进

ゆか (床) [名] 地板

こうとうする (高騰~) [名・サ变自] 暴涨, 腾贵, 涨价

ふだんぎ (普段着) [名] 平日衣服, 平常穿着

べちゃべちゃ [名] 黏乎乎, 湿漉漉

ぼそっと [副] 小声说话; 发呆

じめっと [副] 湿乎乎

ふわっと [副] 轻飘飘; 软绵绵

ちらっと [副] 一瞟; 一闪; 一晃

ものしずか (物静か) [形2] 稳重, 文静; 寂静, 平静

つぶやく [动1自] 嘟囔

まいあがる (舞い上がる) [动1自] 飞扬, 飞舞

あたまがかたい (頭が固い) 死脑筋, 脑筋顽固

あたまがひくい (頭が低い) 谦恭, 谦虚

あたまがふるい (頭が古い) 观念旧, 脑筋旧

かおがひろい (顔が広い) 交际广

くちがうまい (口がうまい) 嘴甜

くちがおもい (口が重い) 寡言, 少语

くちがかるい (口が軽い) 嘴不严; 嘴快

みみがいたい (耳が痛い) 刺耳, 不爱听

みみはやい (耳が早い) 消息灵通

はながたかい (鼻が高い) 自豪, 高傲; 得意

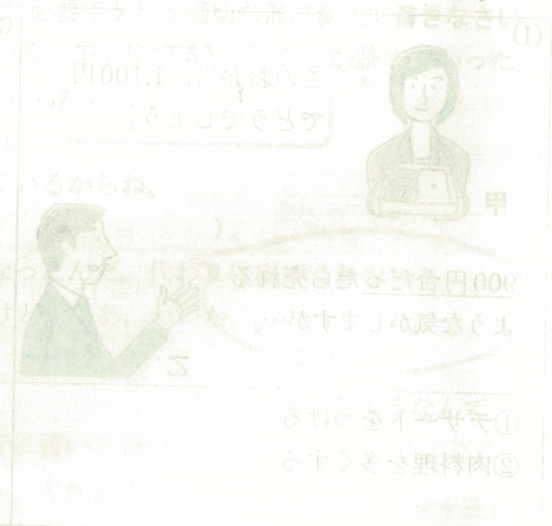
はらがとおおい (腹が大きい) 度量大

はらがくろい (腹が黒い) 心黑; 心狠; 阴险

あしがおもい (足が重い) 脚沉; 累得走不动

あしはやい (足が早い) 容易饿; 走得快; 销路好

こころゆくまで (心行くまで) 心满意足, 尽情



練習

1. 本文を読んで以下の質問に答えなさい。

(1) 「産学協同」を読んで、質問に答えなさい。



- ①心身堂は大学に何の研究開発を頼んでいますか。
- ②「それを利用して新しい素材が…」(p121, 6行目)の「それ」は何を指していますか。
- ③「それが中に空気を含み…」(p121, 11行目)の「それ」は何を指していますか。

(2) 「お披露目」を読んで、()に適切な言葉を入れ、「新素材の容器」の特徴をまとめなさい。

新素材の容器に氷を入れて(①)を閉め、3時間後に開けると、中は(②)が、(③)が見当たらない。それは容器の(④)にある細かい(⑤)が氷の(⑥)を吸収するからである。

また温かい物の場合、この容器が持つ(⑦)と(⑧)により、熱気を(⑨)と同時に温かさを(⑩)のである。結果的に(⑪)も保たれる。

2. 必要があれば、下線に入る言葉を適切な形に変えて、録音を聞きながら乙になって意見を言う練習をしなさい。

<p>(1)</p>  <p>甲: このお弁当, 1,100円 はどうでしょう。</p> <p>乙: <u>900円台</u>だったら売れるような気がしますが…</p>	<p>(2)</p>  <p>甲: このかばんは どうでしょう。</p> <p>乙: <u>もう少し軽ければ</u>, いいと思うんですが…</p>
<p>①デザートをつける</p> <p>②肉料理を多くする</p>	<p>①もっと華やかな色である/ 若い女性に受ける</p> <p>②もう少し大きい/便利だ</p>

3. 下線部を替えて、録音を聞きながら乙になって理由を聞く練習をしなさい。

(1) 甲: このプロジェクトは中止することになりました。

乙: えっ、どうしてですか。

- ①商品の納入を遅らせる
- ②当工場を今年いっぱい閉鎖する

(2) 甲: 店、閉まっているよ。

乙: えっ? 定休日じゃないのに, 何で?

- ①あの本, 絶版になった/ベストセラーだった
- ②蛍光灯がつかない/先週交換した

4. 下線部を埋め、乙になって確認する練習をしなさい。

(1) 甲: デパートの面積がこれでは、これ以上の売り上げが見込めません。それで、後ろのビルを買い取り、渡り廊下でつなげます。

乙: なるほど。_____ ことで、_____ を狙うというわけですね。

(2) 甲: 明日、金曜日は電気点検のため、学校はお休みです。土曜、日曜はもちろん…。

乙: えっ、ということは、_____ わけですね。

5. (1)~(5)の意味に近いものをa~eからそれぞれ選び、線で結びなさい。

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| (1) トラブルが次から次に起きて、困っている。 | • a 手も足も出ない |
| (2) 人がしたくない仕事を進んで引き受ける人に敬服する。 | • b 頭が痛い |
| (3) 力量が同じぐらいである。 | • c 顔を出す |
| (4) ちょっと姿を見せる。 | • d 頭が下がる |
| (5) 難しくてどうやって問題を解くか全然分からない。 | • e 肩を並べる |

6. ()に当てはまる表現を [] から選び、必要であれば適切な形に変えて書きなさい。

- (1) 朝から、200ページもある資料を読んでいる。午前中で50ページしか読めなかった。ああ、() 今日中に読み終わらないよ。
- (2) 甲: この本棚, 安くて、軽くていいですね。
乙: そう、木じゃなくて段ボールでできているからね。
甲: えっ、段ボール? 段ボール()。
- (3) 甲: 今晚のパーティー, 急に都合が悪くなったんだ。代わりに出てくれない?
乙: 今日は早く帰ろうと思っていたんだけど、まあ、いいか。
甲: ついでに、あいさつもしてよ。
乙: それは嫌だよ。出席するだけ(), あいさつをするなんて…。
- (4) 甲: 今日の会議のレポート, 明日の朝までに書いておいてくれ。
乙: プレゼンの準備もしなきゃいけないし、できませんよ。
甲: () だ。
乙: 分かりましたよ。今晚は徹夜です…。
- (5) 甲: 薬を飲んでいるんだけど、()。
乙: 一度、医者に診てもらったほうがいいんじゃないか。

一向によくならない この分だと 無理は承知のうえ
 とは思いもよらない ならまだしも

7. 録音を聞いて、質問に答えなさい。

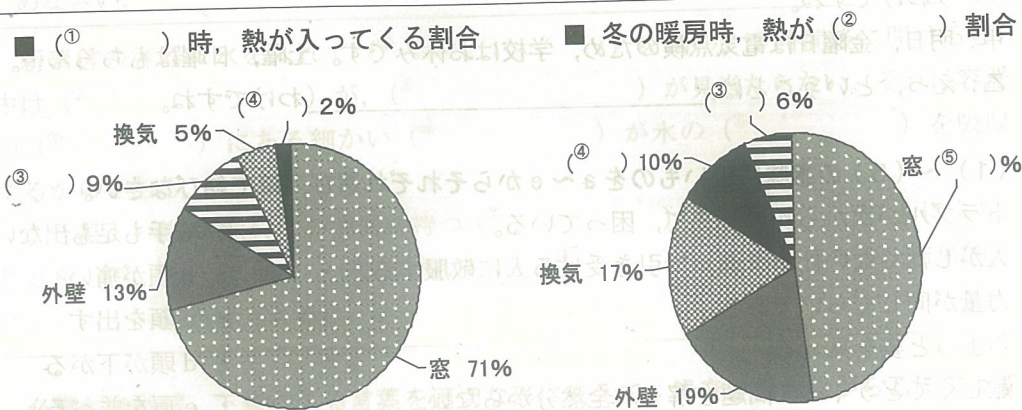
茨城県つくば市の産業技術総合研究所が、まばたきや、みけんにしわを寄せるなど、人間のように豊かな表情をするロボットを開発しました。

(NHKオンラインニュース 2010年10月14日)

[質問]

- (1) (2) (3)

8. 録音を聞きながら、次のグラフを見て、質問に答えなさい。



(出典：(社)日本建材・住宅設備産業協会「21世紀の住宅には、開口部の断熱を…！」より)

- (1) () ①~⑤に適切な言葉または数字を書きなさい。
(2) 複層ガラス「エコツと窓」を用いた住宅はどんな効果が期待できますか。

shadowing シャドーイング

跟读

带小“や”“ゆ”“よ”的词语中，如“きや”“きゆ”“きよ”，要发成一个音。例如“きやく”和“きやく”，发音的时长不同，意思也不一样。在发“きやく”时，要把“や”音发清楚。

■发音练习

五十音练习：ばべびぶべぼばぼ... 漁業 着々... 減茶減茶... ぎゅうぎゅう詰め... 使用中 焼酎... 隣(トナリ)の客(きやく)はよく柿(かき)食(た)う客(きやく)だ

■会話 [提议—拒绝/接受]

田中：お食事でもいかがですか。
白石：ありがとうございます。でも、今日はお昼が遅かったもので。
田中：残念だなあ。じゃあ、今度ぜひ、わたしにごちそうさせてください。近くにいい店がオープンしたんですよ。

■短文

現在、世界の人口はおよそ70億人ですが、そのうち50億人近くが途上国に住んでいます。途上国では、その人口の6分の1に相当するおよそ8億人が栄養不足で、このうち9割もの人々が長期にわたる貧困のために、日々の食料を十分に得ることができません。サハラから南の地域では、人口の3分の1が栄養不足とされています。さらに人口増がこの状況に拍車をかけています。餓死者は1年間に1,500万人から1,800万人とされており、特にアフリカと南アジアでは栄養不足による餓死者が多いのが現状です。

(立山裕二「キーワードで読む環境問題55」総合法令出版より)

新出語彙3

- はなやか (華やか) [形2] 华丽, 华美, 华贵
のうにゅう (納入) [名・サ変他] 缴纳, 交纳
おくらせる (遅らせる) [动2他] 推迟, 延迟
ぜっばん (絶版) [名] 绝版
ベストセラー [名] 畅销书
けいこうとう (蛍光灯) [名] 荧光灯
かいどる (買い取る) [动1他] 买进
わたりろうか (渡り廊下) [名] 游廊, 走廊
つなげる [动2他] 接上; 栓; 维系
ねらう (狙う) [动1他] 寻找...的机会; 瞄准
けいふくする (敬服) [名・サ变自] 敬佩, 佩服
りきりょう (力量) [名] 能力, 本领; 力量
だんボール (段) [名] 瓦楞纸板
つくばし (つくば市) [专] 筑波市
まばたき [名] 眨眼
みけん [名] 眉间
しわ [名] 皱纹
だんぼう (暖房) [名] 供暖设备
がいへき (外壁) [名] 外壁, 外侧壁面
ふくそうガラス (複層) [名] 多重玻璃
【聴解】
アクトロイドエフ (アクトロイド-F) [专] 机器人F
シリコン [名] 硅
とらえる [动2他] 捕捉; 抓住; 逮住
はったつしょうがい (発達障害) [名] 发育障碍
にんちしょう (認知症) [名] 痴呆症
たいわする (対話) [名・サ变自] 对话
もちほこぶ (持ち運ぶ) [动1他] 搬运, 挪动
がいぶ (外部) [名] 外部
でいり (出入り) [名・サ变自] 出入, 进出
にげだす (逃げ出す) [动1自] 逃出
れいだんぼう (冷暖房) [名] 冷暖空调
こうりつ (効率) [名] 效率
いたガラス (板) [名] 平板玻璃
ちゅうにゅうする (注入) [名・サ变他] 注入; 灌输

名作の世界



太宰治

1909年～1948年

生于青森县。东京帝国大学法文科中途退学。师从（著名文学家）井伏鱒二。1935年获得芥川文学奖提名，得到文坛认可。作品多为颓废风格。在日本玉川上水游投河自杀。代表作有《津轻（津軽）》《御伽草纸（お伽草紙）》《维荣之妻（ヴィヨンの妻）》《斜阳（斜陽）》《人间失格（人間失格）》等。

読みたい！もう1冊

《娃娃鱼（山椒魚）》

(1923年) 井伏 鱒二

短篇小说。作品描写一条娃娃鱼不能从栖息的洞穴中脱身，恍悟和悲叹自己失去自由。它堵住洞口，阻碍一只偶然落入洞里的青蛙，使其与自己陷入同样窘境。

『走れメロス』

眼が覚めたのは翌日の薄明の頃である。メロスは跳ね起き、南無三、寝過ぎしたか、いや、まだまだ大丈夫、これからすぐに出發すれば、約束の刻限までには十分間に合う。きょうは是非とも、あの王に、人の信実の存するところを見せてやろう。そうして笑って磔の台に上つてやる。メロスは悠々と身支度を始めた。雨も、いくぶん小降りになつていく様子である。身支度は出来た。さて、メロスは、ぶるんと両腕を大きく振つて、雨中、矢の如く走り出た。私は、今宵、殺される。殺されるために走るのだ。身代りの友を救うために走るのだ。王の奸佞邪智を打ち破るために走るのだ。走らなければならぬ。そうして、私は殺される。若い時から名譽を守れ。さらば、ふるさと。若いメロスは、つらかった。幾度か、立ちどまりそうになった。えい、えいと大声挙げて自身を叱りながら走つた。村を出て、野を横切り、森をくぐり抜け、隣村に着いた頃には、雨も止み、日は高く昇つて、そろそろ暑くなつてきた。

作品紹介

太宰治の中期代表作，发表于1940年。本作品描写主人公美乐斯为了从暴君狄奥尼斯斯手中救出替自己被捕的朋友，一边与自己的内心纠葛作斗争，一边克服重重困难，最后回到朋友身边的故事。

第6単元

国際交流

第21課 歴史的交流

シルクロードと日本人

日本で再会

日本人の中には、「シルクロードの東端は奈良である」と思っている人がいる。その思いは、どこから来ているのだろうか。



第22課 自然保護

ジャイアントパンダを守る

我が子とパンダ

世界中で愛されているパンダは、なぜ絶滅危惧種になってしまったのだろうか。また、パンダの飼育には、どのような苦勞があるのだろうか。



第23課 国際性

温かいスープ

神戸で

国際交流にとって必要なものとは何だろうか。「温かいスープ」の筆者が考える国際性とは、どのようなものだろうか。



第24課 フィランソロピー

①スピーチコンテスト準備会

心身堂は、毎年、外国人を対象とした日本語のスピーチコンテストを行っている。今年の準備会では、どのような議論が交わされたのだろうか。

②スピーチコンテスト本選

スピーチコンテストの参加者の1人である郭蓮蓮は、「国際化社会で自分らしく生きる」というテーマで、自分の体験に基づいたスピーチを行った。そのスピーチを聞いてみよう。